



タブレットを使うと、いろいろなじょうほうを友だちときょう有したり、まとめたことをわかりやすく発表したりすることができます。ここでは、タブレットを使ってきょう有したり、発表したりするときに知っておくべきことや気をつけるべきことについて学びます。

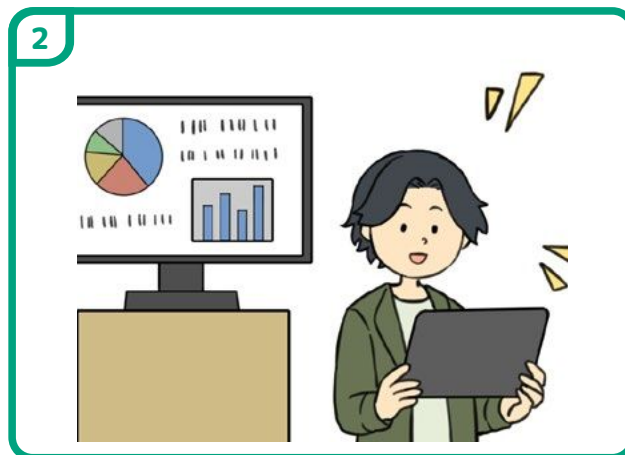
さいしょにチェックしてみよう

- ☐ わたしは、タブレットを使って上手に発表できると思う
- ☐ わたしは、感想を具体的に伝えることができると思う
- ☐ わたしは、友だちの発表をきちんと聞いていると思う
- ☐ わたしは、聞き方をくふうして、相手の話を聞くことができると思う
- ☐ わたしは、自分の作品が勝手に書きこまれたとき、きちんと対おうできると思う
- ☐ わたしは、写真を見ることができる人のせってい方ほうがわかると思う

タブレットを使^{つか}った発表^{はっぴょう}の様子^{ようす}です。クラスの前^{まえ}で発表^{はっぴょう}しています。
じょうず はっぴょう おも
上手な発表^{はっぴょう}だと思^{おも}うじゅんにならべてみましょう。



ずっとタブレットを見^みて発表^{はっぴょう}している

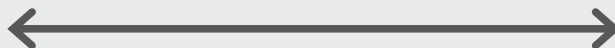


き聞^きいている人^{ひと}を見^みて発表^{はっぴょう}している



モニターを見^みて発表^{はっぴょう}している

じょうず
とても上手



じょうず
上手ではない

とも
友だちとくらべてみよう



★ スキルのポイント

タブレットやモニターを^みながら^{はな}話してしまうと、どうしても^{こえ}声^{まえ}が前にとどきにくなります。できるだけ、^き聞いて^{ひと}いる人の方を向いて^{ほう}発表^むするとよいでしょう。

また、^{こえ}声^{おお}の大きさや^{はな}話^{はや}す速さなどもくふうしてみましょう。どのような^{こえ}声^{おお}の大きさや^{はな}話^{はや}す速さだと、^き聞きやすい^{はっぴょう}発表になるか、ためしてみましょう。

きょう^{しょく}食^{つく}を作^{ひと}ってくれた人^むに向けて、今日^{きょう}のきょう食^{しょく}のカレーの感想^{かんそう}をつたえることになりました。

れい

きょう^{しょく}今日のきょう食^{しょく}は、おいしかったです。

うえ^{かんそう}上の感想^{かんそう}を、よりよく^{つた}伝^くわるように工夫^{くふう}してみましょう。
どんなこと^{くわ}をつけ加^{かんそう}えると、よい感想^{かんそう}になるでしょうか。



きょう^{しょく}今日のきょう食^{しょく}はおいしかったです。
とくに、

かい答れい

きょう しょう
今日のきゅう食はおいしかったです。
とくに、お肉がやわらかく、じゃがいもが大きく、ニンジンがあまかったです。

とも
友だちとくらべてみよう



★ スキルのポイント

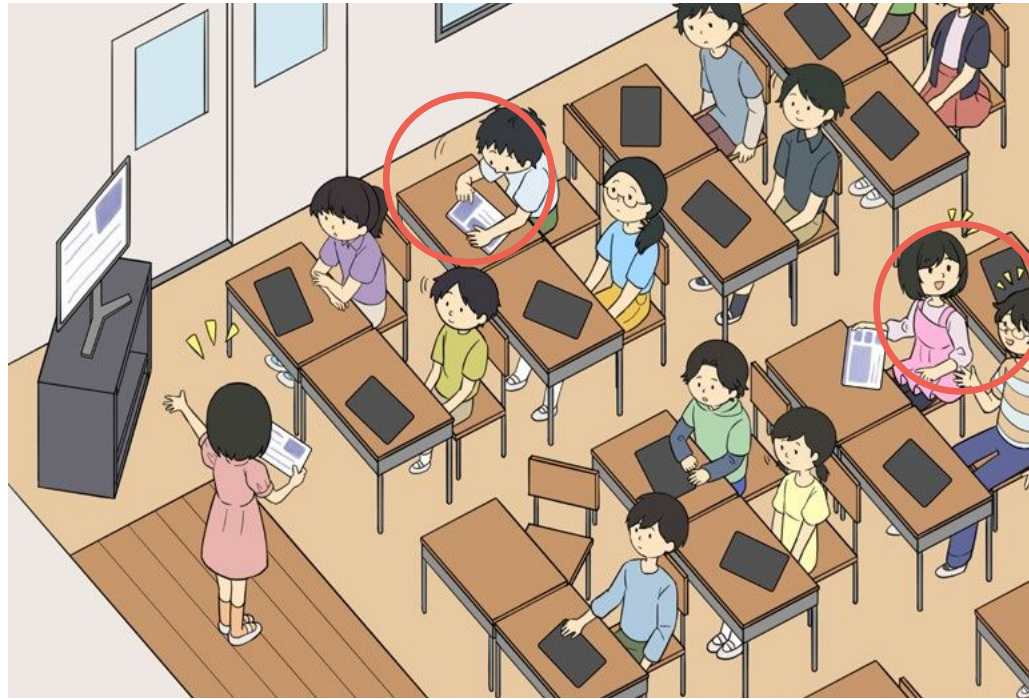
きゅう食を作ってくれた人は、どんなことを知りたいでしょうか？

「おいしかった」だけでなく、カレーの何がおいしかったのか、具体てきに知りたいはずです。

かんそう
感想をつたえるときは、りゆうを具体てきにつたえてみましょう。

[illegible]

とう かい答れい



★ スキルのポイント

とも はっぴょう
友だちが発表をしているときに、きちんと聞くことができているでしょうか？ とも はっぴょう
友だちが発表をしているのに、タブ
レットをさわっていたり、とも はな
友だちと話をしていたりしていることはありませんか？
はっぴょうしゃ はな き かんが
発表者が話しやすいように、聞くためのくふうも考えてみましょう。

ふたりひとくみとなり、^{つぎ}次のテーマを^{あいて}相手に^{はな}話してみましょう。

テーマ：すきなデザート

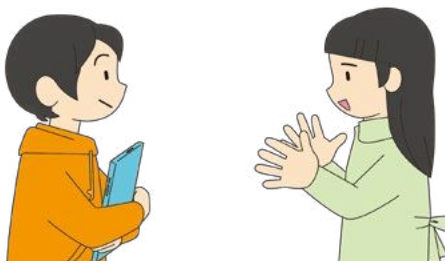
わたしがすきなデザートは、「○○」です。

なぜすきかというと、「○○」だからです。

おすすめのお店や商品は、「○○」のものです。

き ^{ひと}聞く人は、それぞれ①～③の^{ほう}方で^き聞いてみましょう。

1 ^{はなし}話をしている人に^{ひと}顔も^{かお}体も^{からだ}向けてうなづく



2 ^{はなし}話をしている人に^{ひと}体を向けて、^{からだ}顔はみない



3 ^{はなし}話をしている人に^{ひと}体も^{からだ}顔も^{かお}向けない

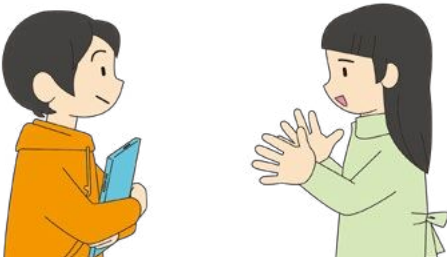


3つの^き聞き方をされたとき、^{かた}話す人はそれぞれどのように^{かん}感じましたか。

とも
友だちとくらべてみよう

1

はなし ひと かお からだ
話をしている人に顔も体も
向けてうなづく



2

はなし ひと からだ む
話をしている人に体を向けて、
顔はみない



3

はなし ひと からだ かお
話をしている人に体も顔も
向けない



☆ スキルのポイント

あいて はなし き
相手の話を聞くとともに、タブレットを見たままだったり、ちがうことをしていたりしながら聞いていたら、相手はど
う感じるでしょうか。

いろいろな聞き方をためして、相手にどう感じるかを聞いてみましょう。

じぶん さいくひん み こうかい さいくひん らくが
 自分のつくった作品を、みんなが見られるように公開したところ、その作品に落書きをされてしまいました。

たい
 あなたならどのように対おうしますか。

つぎ こうどう ほう ほう
 次の3つの行動を「○ やった方がよい」「× やらない方がよい」にわけてみましょう。

1

くやしいので
 ほかひとさいくひん
 他の人の作品に
 らくが
 落書きする

2

らくが ようす
 その落書きの様子を
 き
 記しておく

3

らくが
 落書きされたことを
 せんせい
 先生にそうだんする

ほう
 ○ やった方がよい **A**

ほう
B × やらない方がよい



せい
正かい

○ やった方がよい A

2

らくが ようす
その落書きの様子を
き
記録しておく

3

らくが
落書きされたことを
せんせい
先生にそうだんする

× やらない方がよい B

1

くやしいので
ほか ひと さくひん
他の人の作品に
らくが
落書きする

★ スキルのポイント

クラスの他の人の作品を自由に見ることができるのは、とてもべんりですが、なかには勝手に作品に書きこみをしたり、落書きをしたりする人もいます。そんなときは、まずはその落書きの様子を記録しましょう。

がめん ようす
画面の様子を記録することをスクリーンショットと言います。

そのスクリーンショットとともに先生にそうだんしましょう。



だれが見ることができるのかな

つぎのように設定されている場合、この写真はだれが見ることができるでしょうか。
1つえらびましょう。



この写真を見ることができるユーザー

☒ 先生（かんり者）

☒ 2年1組

☐ 3年1組

1

この写真をとった人しか
み
見ることができない

2

2年1組の人が
み
見ることができる

3

3年1組の人が
み
見ることができる



せい
正かい

2

ねん くみ ひと
2年1組の人が
み
見ることができる



この写真^{しゃしん}を^み見ることができるユーザー

☒ ^{せんせい}先生（^{しゃ}かんり者）

☒ ^{ねん くみ}2年1組

☐ ^{ねん くみ}3年1組

★ スキルのポイント

せってい
設定をすることで、^{しゃしん}写真^みを見ることができる人^{ひと}をかんりしたり、せいげんしたりすることができます。

この場合は、^{ばあい}アクセスできるユーザー（^み見ることができる人^{ひと}）のチェックが^{せんせい}先生と^{ねん くみ はい}2年1組に入っているなので、^{せんせい}先生と^{ねん くみ ひと}2年1組の人だけが^み見ることができます。



まとめ

じょうず つか 上手に使うために

タブレットを使って「きょう有」や「発表」を行う場合には、相手のことをいしきするひつようがあります。どんな人がこのじょうほうを受けとるのかを想ぞうしながら、「どうすれば相手につたわりやすいかな」ということを考え、くふうしてみましょう。

チェックしてみよう

- ☐ わたしは、タブレットを使って上手に発表することができる
- ☐ わたしは、感想を具体的に伝えることができる
- ☐ わたしは、友だちの発表をきちんと聞くことができる
- ☐ わたしは、聞き方をくふうして、相手の話を聞くことができる
- ☐ わたしは、自分の作品に勝手に書きこまれたとき、きちんと対応することができる
- ☐ わたしは、写真を見ることができる人のせってい方ほうをせつ明することができる